社会福祉法人　京都保育センター　たかつかさ保育園　園だより　2026年11月号　11

11月5日（木）発行責任　園長　池添鉄平　　11月1日現在の在籍児童数　138名

空の友だち

工藤直子

空は　あそびずき
青い青い　ひろばのうえに
いろんな友だちが　やってくる

お日さまが　おっほんと　とおりすぎ
星たちは　わいわい　がやがや
しずしず　あらわれるのは　お月さま

入道雲は　ピラミッドごっこが
だいすきで
綿雲は　ボールになって
風といっしょにサッカーしてる

おや　むこうから　やってきたのは雨雲だ
雨つぶの旅が　はじまるんだね

工藤直子全詩集
伊藤英治・市河紀子編
理論社　より



10/17　運動会





10/22　園庭



10/23　園庭



10/29　美山

「天高く馬肥ゆる秋」… こんな言葉を思い出す天気の良い日にはついついカメラを上向けにしてしまいます。子どもたちと同じ秋の空を見ていても、見つける雲はそれぞれ、見え方もそれぞれ、たまにはゆ～っくり空と雲を眺めながら、子どもとアレコレ話したいですね。読書の秋、詩から始めさせていただきました。そして食欲の秋にちなんで今月号は給食室の北田先生とのコラボで秋の園だより特別号です。ゆっくりお付き合いください。

10月17日（土）に開催した運動会もそんな気持ちの良い空の下で行うことができました。とても和やかな雰囲気の中で子どもたち一人ひとりの育ちをみんなで喜び合うことができました。保護者の皆さんの笑顔もたくさん見られました。また朝早くからの準備などご協力をありがとうございました。どのクラスもそれぞれのカラーがありましたが、特にきりん組・ぞう組のリレーは、当日までに各クラスのみんなで積み上げてきた思いが形になったようで印象に残りました。クラス対抗の保護者競技も大いに盛り上がりまして、優勝はぞう組でした。おめでとうございます。
会場を貸してくださった大将軍小学校や地域の皆さまにもご協力いただきありがとうございました。





年長児ぞう組の子どもたちは 10 月 29 日～30 日で合宿を行ないました。美山でお泊りをする予定でしたが、今年もクマの出没情報があり園での宿泊に変更をしました。1 日目は美山の自然の中でたっぷり遊んできました。いつもお世話になっている京都桑田村には「たもつさん」というおじいちゃんがおられるのですが、その方は歌がお上手でいつも「山賊のうた」という面白い歌を聞かせてくれます。今年は「かえるの歌」の輪唱を提案してくださって、夏はまだまだだったのですが、ぞう組の子どもたちは秋の再会に備え練習をしてきました。そして今回顔合わせで披露すると、その出来栄えに「感激した！」と喜んでくれました。そんな合宿の始まりでした。そして今年は京都府南丹広域振興局の方々の企画で「井堰（いせき）」や「棚田」について出前授業があり、模型などを使って楽しく仕組みを教わりました。その後は芋掘り！今年も豊作で次々と掘れるので、子どもたちは疲れ知らずでたくさん掘りました。その後も走り回り、昔あそびも楽しみ、美山の自然を満喫して帰ってきました。園に帰ると給食室の北田先生が「味噌うどんと味噌焼きおにぎり」を作ってくれていて、これもみんなで美味しくいただきました。夜はホールでお待ちかねのお楽しみ会、「マイムマイム」はみんなで笑顔を交わしながら踊る楽しい時間でした。2日目は「ぱんぼっくす」までみんなでパンを買いに行き、園でホットドッグにして食べました。午前中は京都桑田村から借りてきた「千歯こき」で脱穀もしました。特別な時間をクラスみんなで過ごすことができて良かったです。









10 月 23 日（金）幼児（3,4,5 歳児）クラスの懇談会を行いました。前半 20 分はクラスからの様子をお伝えして、その後は異年齢でのランダムなメンバーでグループトークを行いました。テーマを「大人に関わる話」「子どもに関わる話」として２部に分けて、メンバーチェンジをして行いました。どのグループも話題は多岐に渡り盛り上がっていました。お忙しい中ご参加ありがとうございました。



給食食材放射能測定　　2026 年 10 月の測定実績：市民測定室　三条御前測定依頼所

１０月に測定した食品は次の通りです。いずれも放射性セシウムの検出はありませんでした。

測定日	測定食品	産地・メーカー	測定下限値（Bq/Kg）		測定結果
			Cs-137	Cs-134	
10/8	ちりめんじゃこ	兵庫県	3.23	3.27	不検出
10/8	だしじゃこ	京都府	3.22	3.26	不検出

１０月の避難訓練

１０月 22 日（木）9:35 給食室から出火想定で行いました。３分ほどで全員が園庭に避難完了しました。２階からの避難時にトイレなどに逃げ遅れがないか最終確認もできました。先月、消防隊員に教えてもらったことの再確認をしました。

１１月と今後の予定



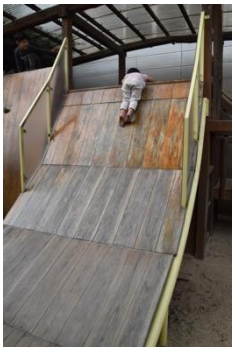




６日（金）京都府聾学校との交流（ぞう組）
８日（日）たかつかさフェス 2026　保護者会主催
１３日（金）観劇「かぜのこ ぴーぷー ぴーひゃら団」劇団風の子
１８日（水）お弁当日　　愛宕山登山（ぞう組）
２０日（金）大将軍小学校１年生との交流（ぞう組）
２８日（土）am たかつかさこどもまつり・ピカピカデー
　　pm 職員会議
　　家庭保育が可能な場合はご協力をお願いします。

12 月 19 日（土）すてきななかま会（3,4,5 歳児対象）
　　25 日（金）京都市監査
12 月 28 日（月）保育最終日（要お弁当）
12 月 29 日～1 月３日　冬期休園
１月４日（月）保育開始日　（要お弁当）





１１月８日（日）は「たかつかさフェス 2026」として、例年のバザーから名前を変えて開催されます。保護者会・実行委員会の皆さまお忙しい中、企画準備をありがとうございます。盛りだくさんの内容で楽しみです。

１１月 28 日（土）はいろいろとあります。
「たかつかさこどもまつり」たかつかさ子育てネットワーク主催で大将軍小学校をお借りして開催されます。10:00～12:30 で乳幼児から小学生・中高生まで「誰でも・どこからでも・無料」で参加できます。たかつかさ保育園は「つくりものコーナー」で参加します。詳細はお配りした案内チラシをご覧ください。

保育園では並行して**「ピカピカデー」**も行います。園庭整備を行いますので、こちらも可能な方はご参加をお願いいたします。申し訳ないのですが、今回は昼食の準備が難しく昼食は無しで、飲み物をご用意してお待ちしています。
10 時～12 時です。

チャレンジ体験（職業体験）の受入れ

後進育成のためにもご協力をありがとうございます。

- 衣笠中学校　　４名　１１月　２日（月）　～　１１月　６日（金）
- 双ヶ丘中学校　２名　１１月２４日（火）　～　１１月２７日（金）

「子どもたちとつくる給食」

給食室　北田綾香

保育園の生活の中で「今日のご飯なに？」「おやつは？」「いい匂いしてきたー」の言葉から子どもたちが給食を楽しみにしてくれていることが伝わってきます。たかつかさ保育園の給食室では子どもたちとのやりとりを大切にしています。「朝のお当番の子どもたちとのやりとり」「お米研ぎのお当番」「食材を見たり触ったりする取り組み」「野菜の皮むきのお手伝い」「ラッキー人参」「クッキング」「誕生日ゼリー」などそれぞれのやりとりを大切にして、給食を通して食べることにも興味関心を持ってほしいと思っています。

リクエストメニューもそのひとつです。ぞう組になると、誕生日月に手作りおやつの中から好きなおやつを選んでもらい、リクエストメニューとして献立表にも記載して、みんなで同じおやつを食べます。給食室の担当者が一人ひとりにリクエストを聞きに行くのですが、子どもたちの反応は様々でそれぞれが楽しみにしている様子があります。リクエストを聞く前に「もう決まってるで。」と言ってくれる子や、最近では何日も悩みに悩んで、決める姿もありました。担任や保護者とも話し合い、その子が選びやすいように選択肢を絞る工夫をしました。最後に２つが残り、ひとつは誕生日月のリクエスト、もうひとつは３月のリクエストにすることにしました。３月の献立は卒園するぞう組の子どもたちに昼食とおやつのリクエストを聞いて、リクエスト献立にする取り組みをしています。他にも、きな粉好きで、「きな粉おにぎり、マカロニきな粉、わらび餅…。」と悩む姿。「私の生まれた日はすごく寒かったんだよ！」と誕生日のエピソードを教えてくれる姿。８月にリクエストを終え「７歳の誕生日はおにぎり屋さんがいいねんなー。」とつぶやく姿。その願いは残念ながらかなえてあげられないけれど、こんな風にそれぞれが自分の好きなおやつを選ぶことを楽しみにしてくれていることを改めて嬉しく思っています。

また、保護者の方から給食のおかずやおやつのレシピを聞かれることがあると、子どもたちが家庭でも給食の話しをしてくれていることが伝わってきます。おいしかったことだけではないかもしれませんが、その日の出来事として給食のことも話してくれていることに喜びを感じます。



子どもたちとやりとりができるのは、保育園の中に給食室があるからこそだと思います。離乳食では担当者が毎日０歳児クラスに見に行くことで、その子に合った形態で提供することができたり、幼児食では「おいしかったよ。」「またつくってな。」と反応がすぐ返ってきて私たちの励みになっています。一人ひとりと言葉を交わし、顔の見えている関係があるからこそ、給食のことだけでなく日々の生活の様子も感じることができます。子どもたちの声から発想を得ることもあったり、給食の新たな取り組みにつながったりもしています。これからも、一人ひとりの声を大切にしながら給食をつくりたいと思っています。